

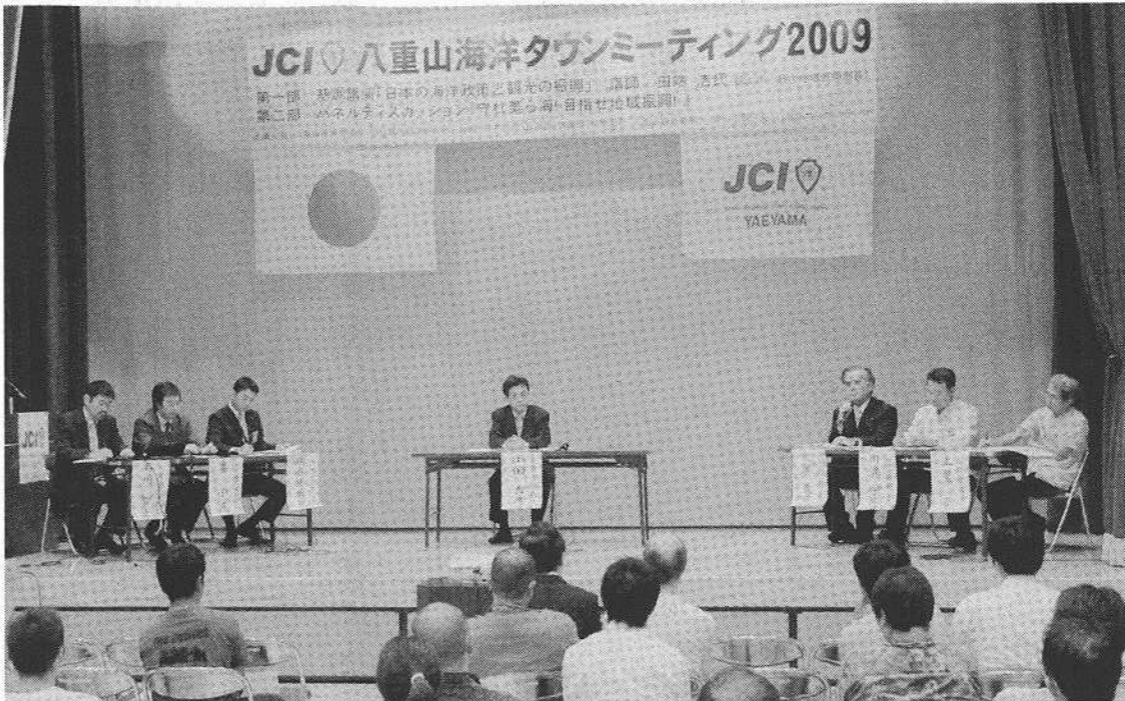
漂流ごみ、国は積極的関与を

海洋タウンミーティング

国際ルールづくり訴え

観光の産業連携、自然保全強調

日本の海洋政策や地域づくりをテーマにした「八重山海洋タウンミーティング2009」(主催・八重山青年会議所、財団法人都市経済研究所)が13日夜、市内で開かれた。大浜市長石垣市長と川満市長竹富町長が研究者らとともに行ったパネル討論では、自然環境の重要性で一致し、漂着ごみ対策では「国際的な取り組みが必要」として、国の積極的な関与を求める意見が出た。



「守れ美ら海! 目指せ地域振興」をテーマに行われた「八重山海洋タウンミーティング2009」のパネル討論

八重山青年会議所の座喜味盛行理事長は「島々は海でつながっている。広域的に考えることが問題解決の近道」と提起した。

豊小波(ロウ・シャオ)が東京海洋大学教授として、水産業や観光業が地域で連携する仕組みを構築している愛知県の日間賀島のケースを紹介。石川智士・東海大

「国内観光については「けん引役だった60歳台で落ち込んでいる。団塊の世代の収入源や資産価値の低下などが影響しているのではなにか。若者の旅行も少ない」と課題を挙げた。

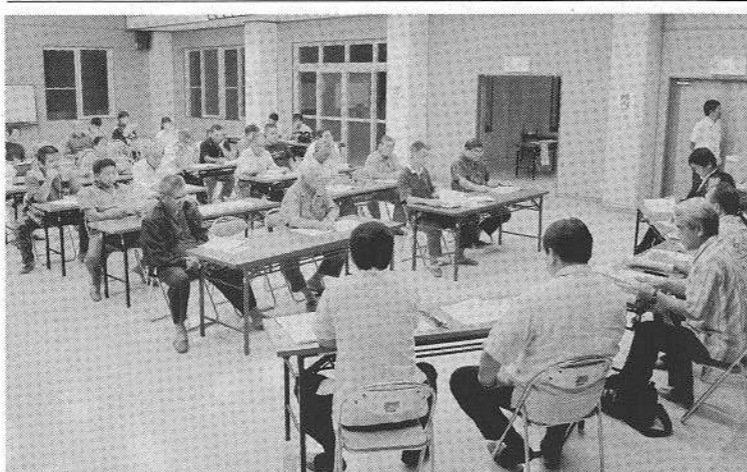
あす障がい児者ふれあい広場

2009年度八重山地区障がい児者ふれあい広場・スポーツ大会(主催・八重山地区社会福祉協議会連絡協議会)が15日午前10時から市屋内練習場で開かれる。

景観地区の反対意見相対

市議会意見交換 市主催住民説明会と

字川平全域(1850秒)を追加する石垣改正案を継続審議中の



市議会の建設土木委員会が開催した意見交換会

石垣市議会建設土木委員会(今村重治委員長、委員7人)は12日夜、川平地区(川平農村集落センター)で意見交換会を開いた。住民からは景観地区指定自体に疑問を呈し、反対する意見が出た。

意見交換会には地域住民18人、地区外から6人が集まった。行政当局が都市計画決定手続の一環として5日に開催した全市民対象の住民説明会とは違い、建設土木委は発言を地域住民に限り、地区外の市民には傍聴席を設けた。

新城、小笠原崇裕も参加

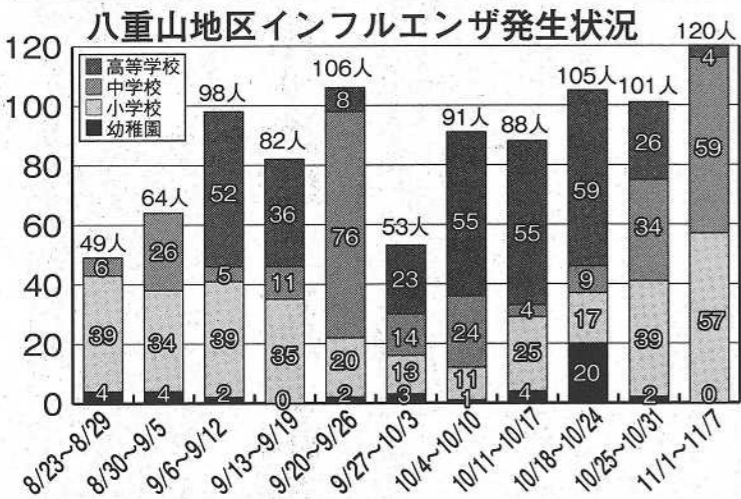
あす石垣島アースライド

「自転車に乗って地球を楽しもう」をキャッチフレーズにする「石垣島アースライド2009」(主催・日刊スポーツ新聞社、マルチスポーツ・インターナショナル)が、15日午前7時から府蔵公園を発着点にスタートする。

国内各地で開かれているアースライドの中で、石垣島は全国で唯一「信号がない120キロのコース」が人気を呼び、今年は昨年を上回る約500人がエントリーしている。

15日は、午前7時から府蔵公園を発着点に、伊原間の船越漁港折り返す100キロのアースライドコースと平久保崎折り返し125キロの「ギバリヨコース」があり、午後5時から同公園でサンセットパーティーが開かれる。

大会前日の14日は、午後1時から申し込み受け付け、同日30分



新型インフル 感染患者が急増

集計以来最多

西表、与那国でも学校、保育所閉鎖

八重山教育事務所の郡内幼稚園、小中学校、高校の新型インフルエンザ感染者数の集計で、今月1日から7日までの感染者数が120人と8月に集計を始めて以来、最多となった。最も多いのは中学校で59人、次いで小学校の57人となっている。

県教育委員会では、再び猛威をふるっていることから、うがいや手洗い、室内換気などを徹底するよう、各校に注意を呼びかけている。

市内では今週に入っても新型インフルエンザの感染が相次ぎ確認され、9日から13日まで、石垣中3クラス、石垣小4クラス、大浜中の1クラスで計46人が感染、学級閉鎖